

マナー・プロトコール検定準1級 問題例

●選択問題

【問題1】国旗の取り扱いについて、不適切なものを選びなさい。

- 1) 国連方式とは、掲揚するポール又は壁に向かって左からアルファベット順に掲揚する場合を言い、4カ国以上の国旗を掲揚する場合に一般的に用いられている。
- 2) 国連旗や五輪旗は全ての国旗より常に上位に取り扱われる。
- 3) 1本のポール上に来訪国の国旗、その下に日本国旗を掲揚して敬意を表した。
- 4) レセプションなどで複数の国旗を掲揚する場合、取り扱い上の特別の決まりは無く見た目に美しく掲揚すればよい。
- 5) 外国旗を縦長に掲揚する場合、その方法が厳密に決められている国旗もあるので細心の注意が必要である。

【問題2】年中行事について、不適切なものを選びなさい。

- 1) 節分とは、立春、立夏、立秋、立冬など、季節の改まる前日のことを呼んだが、次第に立春の前日だけを指すようになった。
- 2) 春分の日をはさんで、前後約三日ずつの一週間を「春のお彼岸」と呼ぶ。
- 3) 午の節句にはチマキや柏餅を食べる習慣がある。チマキは、古代中国・楚の詩人屈原の故事にちなみ食べられるようになった。
- 4) 9月9日は「重陽の節句」と呼ばれているが、いわゆる五節句には入っていない。
- 5) 「花祭り」は毎年5月に行われ、お釈迦様の誕生日を祝う行事である。

【問題3】コミュニケーションスキルとしての第一印象について、不適切なものを選びなさい。

- 1) 「ジェスチャー・立ち居振舞い・表情・視線」などはノンバーバルコミュニケーションと呼ばれている。
- 2) 人の印象の93%は、「話の中身」と「目からの情報」で形成されるといわれている。
- 3) 色には強いメッセージ性がある。その人の魅力を最大限に引き出す色のことを、パーソナルカラーという。
- 4) 人の印象は相手との距離によっても大きく変わる。ビジネスにおいては、両手幅程度の間隔を目安にすると良い。
- 5) 人の第一印象に与えるもっとも強いインパクトは、「話の内容」である。声の調子や、話し方など、パラ・ランゲージはあまり重要でない。

【問題4】食事の方法について、不適切なものを選びなさい。

- 1) 食事のマナーは、国や文化や宗教によって大きく異なる。料理の食べ方は手食、箸食、ナイフ&

フォーク食の3つに大別されるが、手食が最も多い。

- 2) 日本では麺類を食べる際、「すする音」を楽しむ文化があるが、殆どの国では音を立てて食事をするのはマナー違反である。
- 3) 食器の扱いについても、日本・中国・韓国などのようにいろんな食器を持ち上げて食する文化と、その他の国々のように、食器を置いたまま食する文化とがある。
- 4) 箸を使う食事方法は、日本・中国・韓国等アジアの国々が多いが、最も箸の使用比重が高いのは日本である。
- 5) ナイフ&フォークの歴史は古く、箸よりも以前に使用されていた。

**【問題5】日本のしきたりについて、適切なものを選びなさい。**

- 1) 初詣は元日の祝い膳をいただいた後にするのが一般的であるが、かつては大晦日の夜に行なわれていた。
- 2) 日は正月一日の朝のことを言い、元旦は正月の最初の日、一月一日のことを指す。
- 3) 節料理は、本来元日と五節句に食するものであったが、のちに最も大切な正月の膳を「お節」というようになった。
- 4) 衣替えとは季節に応じて衣服を替えることであるが、地域、時代に応じて移行時期はまちまちであった。今日では五月一日と九月一日が一般的である。
- 5) 秋分は秋の彼岸の七日目にあたり、国民の祝日に定められている。この日は、ぼた餅や故人の好物などを作り、墓前に供え祖先の霊を供養する。

※実際には、選択問題は50問出題されます。

<解答>

問題1.(3, 4) 問題2.(4, 5) 問題3.(2, 5) 問題4.(3, 5)

問題5.(1, 3)

●**論述問題例**

**【問題1】日本のしきたりを1つ挙げ、それについて述べよ。**

**【問題2】好感度とマナーの関係について述べよ。**

※実際には、論述問題は5～6問出題されます。